

# 第95期 営業のご報告

2018年4月1日から2019年3月31日まで

ミニディスクロージャー誌



当行キャラクター  
チカッパ

地域を興し、ともに成長・発展する銀行



「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」(西日本鉄道)



あなたのまちの

筑邦銀行

## 目次

ごあいさつ	1
経営方針	2
本部組織の見直し	3
お客さま満足度向上への取り組み	5
地域創生への取り組み	7
働き方改革・ダイバーシティ推進への取り組み	9
ちくぎんトピックス	10
CSR	11
お客さまへの大切なお知らせ	13
役員／株式について	14
業績ハイライト	15
財務のご報告(単体)	18

## 筑邦銀行のプロフィール

設立	昭和27年12月23日
総資産	7,854億円
預金・譲渡性預金	7,077億円
貸出金	4,922億円
資本金	80億円
株主数	2,743名
従業員数	566名
店舗数	44か店 <sup>(注)</sup>

(注) 店舗内店舗形式は8か店  
2019年3月31日現在

## ごあいさつ

### 「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

昨年度のわが国経済は、政府の経済対策などから企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復の動きが続きましたが、地方の中小企業にとっては人手不足感が深刻化しました。金融情勢については前半は欧・米の中央銀行が金融緩和策の出口へと向かいつつありましたが、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題など種々の不安定要因が意識され、株式・為替市場では先行きに対する不透明感が続きました。

当行の営業基盤である福岡県内の経済は、個人消費や生産活動の緩やかな回復、災害復興需要などにより、全体としても緩やかに回復しましたが、一部の中小企業の景況感是人手不足、資材の値上がり等で厳しい状況が続いております。

こうした経営環境の下、当行は、昨年4月に「中期経営計画2018」(計画期間2018年4月～2021年3月)をスタートさせております。本計画は前中期経営計画の「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」というスローガンを継承し、その実現のための基本方針を「お客さま本位の徹底」、「地域創生への貢献」、「強靱な経営基盤の構築」としております。

当行は今後も、お客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地銀そのものが地方の有力な金融サービス産業であるとの認識の下、堅実経営を遵守し、地域創生と地域経済の活性化に尽力してまいります。

今後ともなおいっそうのご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2019年6月

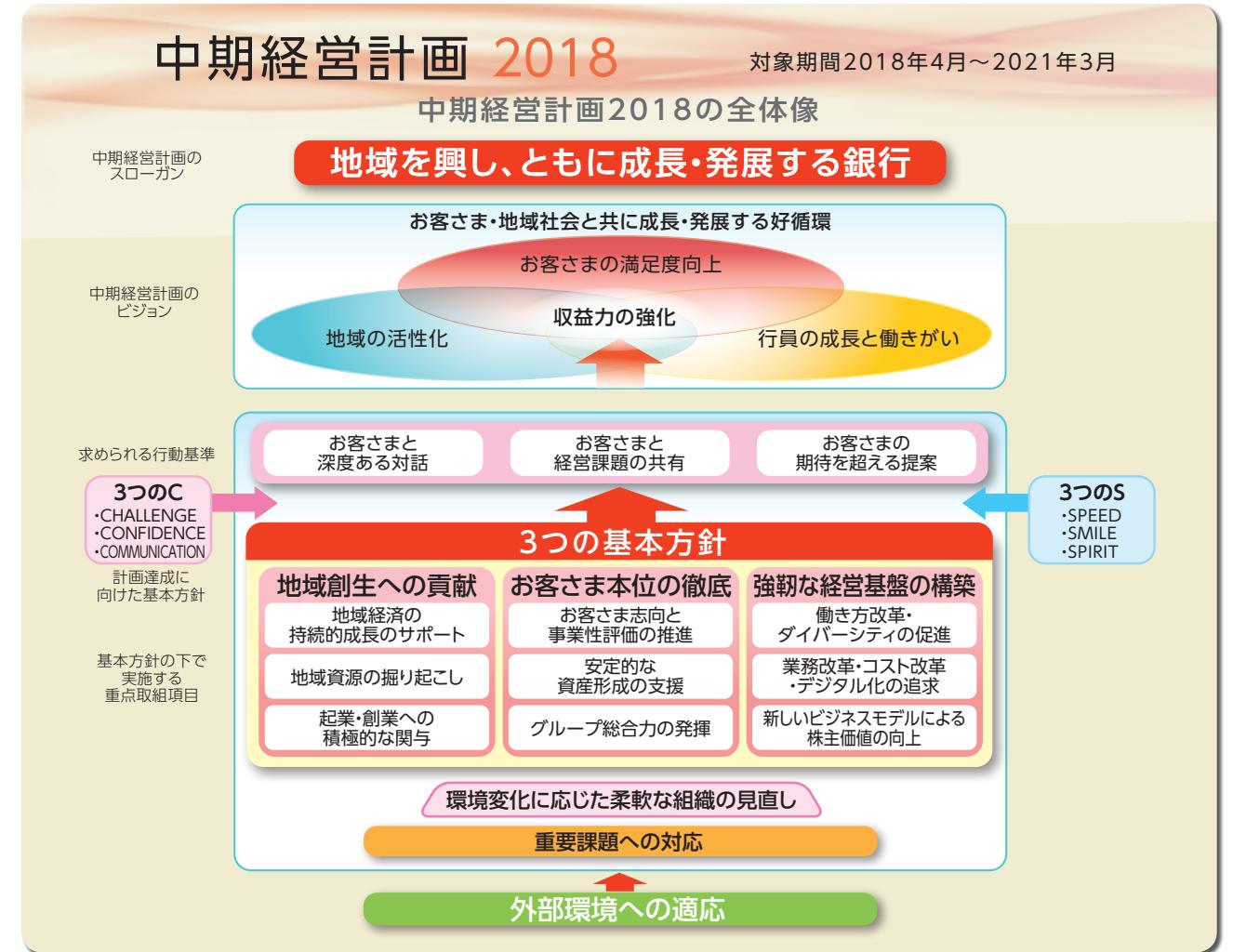


頭取 佐藤 清一郎

## 経営方針

### 基本理念「地域社会へのご奉仕」

当行は、昭和27年の創立以来、一貫して「地域社会へのご奉仕」という基本理念のもと、地元のお役に立つことが何にもまして重要な社会的使命と考え、地域の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。今後も地元の銀行として、この経営方針を堅持してまいります。





# 本部組織の見直し

「中期経営計画2018」（期間：2018年4月～2021年3月）の計画達成に向けた体制整備として、2019年4月に本部組織の見直しを行いました。

## 変更目的

本部制を一部導入し、これまでの「部」の一部を本部直下の「グループ」とすることで、本部組織のスリム化、フラット化による意思決定のスピードアップを図り、フロント部門、サポート部門をそれぞれ一本化し、情報共有、連携を高めることで、本部による営業店支援体制を強化してまいります。

## 変更内容

### 1 「企画本部」の新設

「企画本部」に人事グループ、総務グループ、企画グループ、デジタル戦略グループ、東京事務所を置き、企画本部長が統括します。

### 2 「営業本部」の新設

「営業本部」に営業推進グループ、ソリューション事業グループ、国際営業グループを置き、営業本部長が統括します。

### 3 「デジタル戦略グループ」について

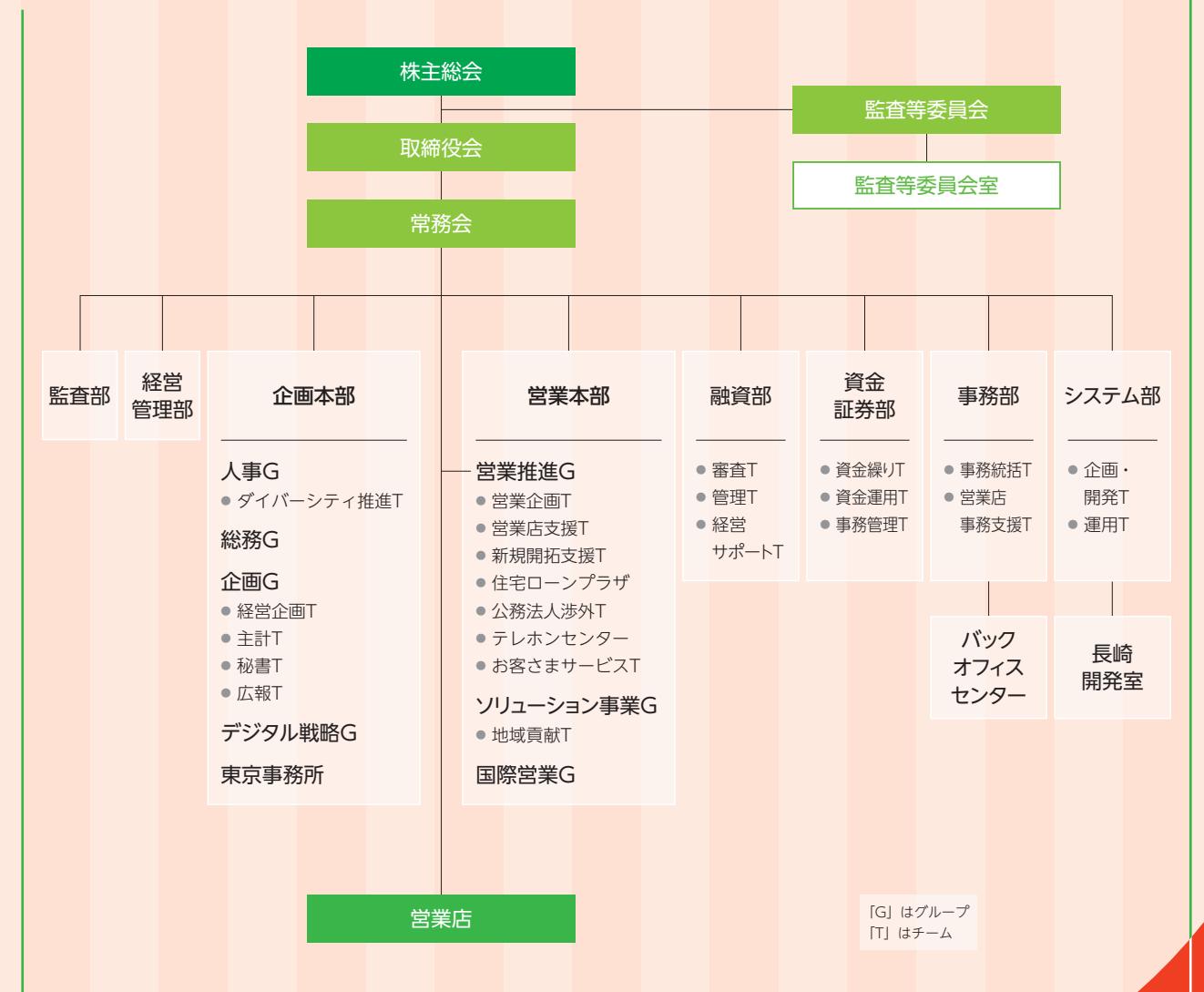
デジタル戦略室は、対面の商品企画業務や新たにブランド戦略等に係る企画・立案機能も担うことに伴い、「グループ」としました。

この結果、12部1事務所9室から、2本部6部2室に集約いたしました。今後も、環境変化に応じて柔軟な組織の見直しを行ってまいります。

※バックオフィスセンター、長崎開発室を除く、これまで「室」として行っていた業務は上位の部あるいは「グループ」へ統合し、「チーム」としました。



機構図 2019年4月1日現在



「G」はグループ  
「T」はチーム

# お客さま満足度向上への取組み



## アプリへ当行預金口座から チャージが可能となりました！

以下のサービスへ、  
当行普通預金口座から  
即時にチャージできる  
サービスを開始いたしました。



フリマアプリ「メルカリ」で利用  
できるスマホ決済サービスで、残  
高をチャージすることで、スマート  
フォンを使いお店や「メルカリ」で  
お買い物ができます。



コミュニケーションアプリ「LINE」  
内で提供されているモバイル送  
金・決済サービスで、「LINE」の  
友だち同士での送金、提携サービ  
ス・店舗での決済ができます。



ウェルネット(株)が提供するスマート  
フォンアプリで、電気料金等の払  
込票のバーコードを読み取り、電  
子マネーで即時に払込を行うこと  
ができます。



(株)みずほ銀行が提供するスマート  
フォンアプリで「送る」「支払う」  
に加えて、銀行口座との入出金も  
「無料」で行うことができます。

### 2019年3月 株式会社マネーフォワードとのAPI連携開始

株式会社マネーフォワードが提供するお金の見える化サービス「マネーフォワードME」、ビジネス向けクラウドサービス「マネーフォワードクラウド会計・確定申告」と当行インターネットバンキングサービス（個人・法人）のAPIによる公式連携を開始いたしました。

#### API連携サービス\*の概要

当行サービス	連携サービス	連携内容
個人向けインターネットバンキング	お金の見える化サービス「マネーフォワード ME」	● 残高照会
法人向けインターネットバンキング	ビジネス向けクラウドサービス「マネーフォワード クラウド会計・確定申告」	● 入金履歴照会

\*銀行によるAPI（アプリケーション・プログラミング・インターフェース）連携サービスとは、銀行と外部の事業者との間の安全なデータ連携を可能とする仕組みです。銀行がシステムへの接続仕様を外部の事業者公開し、あらかじめ契約を結んだ外部事業者のアクセスを認めることで、外部の事業者と連携して、利便性の高い高度な金融サービスを提供できるようになります。また、当行が提供する認証基盤（OAuth2.0準拠）を用いて認証することで、外部の事業者へインターネットバンキングのID・パスワードを預ける必要がなく、より安全に外部の事業者のサービスをご利用いただけるようになります。



※情報の連携は、お客さまの同意のうえ実施いたします。

### 2019年3月 SBI証券口座へのリアルタイム入金サービスの提供開始

SBI証券総合口座に対する「リアルタイム入金」サービスの提供を開始いたしました。  
これにより、当行の金融商品仲介によりSBI証券の証券総合口座をご利用中の個人のお客さまであれば、SBI証券のWEBサイトから当行普通預金口座を指定し登録を行うことで、SBI証券総合口座に365日7:00~21:00の間で、即時に手数料無料で資金の振り替えをすることが可能となりました。

#### 「筑邦銀行 リアルタイム入金」サービス概要

対象の方	当行の金融商品仲介によりSBI証券の証券総合口座をご利用中のお客さまで、キャッシュカード暗証番号をお持ちの個人のお客さま（代理人を除く）
利用可能デバイス	PC・スマホ・タブレット
振替方法	SBI証券WEBサイト>「入金指示」>「筑邦銀行 リアルタイム入金」より
利用開始方法	SBI証券WEBサイトから当行の個人用普通預金口座を振替口座として登録（申込から即時に完了） ※当行普通預金口座キャッシュカードの契約が必要 当行インターネットバンキングの契約は不要

### 2018年12月 「九州キャッシュレス観光アイランド推進コンソーシアム」へ参加

九州全域にキャッシュレス決済インフラを整備することで、中国等インバウンド観光客の誘致と域内消費の最大化を目的とした「九州キャッシュレス観光アイランド推進コンソーシアム」へ賛助会員として参加いたしました。

本コンソーシアムは、九州の観光・インバウンド関連企業、金融機関、自治体等の団体が連携し、九州全域にキャッシュレス決済インフラを整備することで、中国等インバウンド観光客の誘致と域内消費の最大化を実現し、ひいては九州経済の活性化に貢献することを目的としております。



#### 活動内容

- インバウンド観光客の誘致と消費拡大を目的としたモバイル決済等キャッシュレスサービスに関する勉強会の開催、情報交換
- 九州全域にキャッシュレス決済インフラを整備するため、モバイル決済等キャッシュレスサービスの導入促進に関する情報発信ならびにイベントの主催、後援
- 決済アプリ等を通じた九州観光情報の発信や、来訪・決済データ等を活用したマーケティング活動に関する情報交換ならびに連携協議
- その他コンソーシアムの趣旨を達成するために必要な活動

# 地域創生への取組み

当行は地域創生への貢献、地域社会の応援の取組に努めてまいります。

2019年3月

## 「NPO法人ちくご出会いサポートセンターJUNOALL（通称：ちっこジュノール）」開所式 開催

日本の少子高齢化問題を解決し、地域活性化にも貢献することを目的に立ち上げられた婚活支援組織「JUNOALL（ジュノール）」の取組を福岡県南地域でも行うべく、当行も支援しております。2019年3月には、「NPO法人ちくご出会いサポートセンターJUNOALL（通称：ちっこジュノール）」の開所式が開催されました。

事務所は福岡県久留米市に設置され、同年5月より事業を開始しております。



開所式

## 2019年1月 久留米工業大学と「大学発ベンチャーセミナー」を共同開催

テーマ「創業・起業環境の変化と今後のトレンド」

—大学・地域発ベンチャービジネス創出にむけて、新規事業支援を考える—

当行は2018年1月に久留米工業大学と筑後地域における地域創生を目的とした教育・研究事業に関する包括連携協定を締結しております。このたび本協定の趣旨に基づき、久留米工業大学の教職員及び学生を対象とした「大学発ベンチャーセミナー」を共同開催いたしました。

本セミナーでは、久留米工業大学の有する知識・技術を大学発ベンチャーとして創出・成長させるための環境やトレンドを共有し、将来的に新規事業創出を目指すための課題を考えました。

当行では、新規事業創出にあたり金融ノウハウや投融資を含めた金融面での支援を行ってまいります。



大学発ベンチャーセミナー

## 2019年3月 CSR私募債「ちくごん地域応援私募債」の取扱開始

地域創生への貢献、地域社会の応援取組のため、CSR私募債「ちくごん地域応援私募債」の取扱を開始いたしました。本私募債は、お客さまの資金ニーズにお応えすると同時に、私募債発行額の0.2%相当額（物品及び金銭）を教育機関等に寄贈することで地域社会を応援する仕組みとなっております。

取扱開始より、お客さまに高い関心をいただき企業様の私募債を受託しております。

### CSR私募債のイメージ図



### 寄贈先

教育機関（学校・幼稚園・保育園・大学等）、福祉関連（社会福祉協議会・高齢者施設等）、文化関連（文化施設・文化振興財団等）、復興支援（震災・豪雨災害等）

## 2019年5月 「農業IT活用セミナー」を開催



農業IT活用セミナー

当行の主要営業エリアである福岡県南部地域は農業が盛んであり、当行は農業分野を成長分野と考えております。このたび(株)ちくごん地域経済研究所との共催にて「農業IT活用セミナー」を開催しました。本セミナーでは農業分野における「経営計画の立案及び効果」、「計画立案の為の数値の取得及び分析方法」等について、専門家が説明を行いました。



# 働き方改革・ダイバーシティ推進への取組み

## 2019年1月 企業主導型保育所との提携

企業主導型保育所は、提携する企業の子供を企業枠として受け入れを行うものです。今回、行員の子育て支援、福利厚生の実施の一環として、企業主導型保育所3先と提携いたしました。

## 2019年2月 育休者懇談会を開催

仕事と家庭の両立の実現に向けた取組みとして、従業員組合との共催のもと、育休者懇談会を開催いたしました。懇談会では、業務の改定、育児関連諸制度についての講義や参加者の職場復帰に向けた意見交換会を行いました。



仕事と家庭の両立や子育てに対する不安や悩みについて様々な意見交換を行う参加者



# ちくぎんとピックス

## 2019年3月 「基礎から学ぶ！技能実習制度セミナー」を開催

アジア福岡パートナーズ、ちくぎん地域経済研究所主催、当行後援で「基礎から学ぶ！技能実習制度セミナー」を開催いたしました。本セミナーでは、技能実習制度の概要（入管法改正による新制度について）、受入準備から受入後の流れ、ベトナムにおける技能実習制度の事情について専門家より講義がありました。また、セミナー後には個別相談会も開催されました。



アジア福岡パートナーズの取組みも紹介



技能実習制度セミナー



## 2019年3月 「第4回久留米つばきカップTTin草野」に協賛

福岡県久留米市草野町の耳納連山にある最大勾配22%の急坂を完走目指して駆け上がるサイクリングイベント（ヒルクライム）「第4回久留米つばきカップTTin草野」が開催され、当行はメインスポンサーとして協賛いたしました。このイベントは、久留米市耳納北麓地域の魅力を観光誘客に繋げ、地域の活性化を図るため2015年に第1回が開催され、今回で4回目となります。

第4回久留米つばきカップTTin草野



## 2019年7月 東合川支店が移転オープン

東合川支店を2019年7月8日（月）に移転オープンいたします。新店舗においては、お客さまの大切な財産を安全にお守りする全自動貸金庫や、多目的トイレ、スロープ等バリアフリーに配慮した設備で機能面を充実させております。また、ロビーには、ガラス・カーテンウォール（前面ガラス）と吹抜けを採用することで、開放的で、お客さまにとって心地良い空間となっております。



東合川支店の完成予想図

## 地域への各種支援活動の状況

当行は、銀行業務を通じた地域経済への貢献のほか、地域社会の一員として地域の発展を願い、さまざまな社会貢献活動を積極的に展開しております。

### 青少年スポーツ活動の支援

青少年の健全な育成を願って、青少年スポーツ活動の支援を行っております。



筑邦銀行旗第5回久留米近圏学童軟式野球大会（2019年3月）



第27回ちくぎん杯少年サッカー大会（2019年4月）



### 地域復興支援活動

「平成29年7月九州北部豪雨」において被害を受けられた地域の復興支援のため、「平成29年7月九州北部豪雨」義援金（営業店窓口設置募金箱二次受付分）313,352円を2018年12月に朝倉市へ寄付いたしました。

### 環境保全・美化活動

2012年より、当行の創立50周年を機に全行一斉「地域貢献清掃活動」を実施しており、店舗周辺の道路や公園などのボランティア清掃活動を積極的に行っております。



街をきれいに

### セミナーの開催・献血活動

2012年の創立60周年記念事業プロジェクトを機に、社会貢献活動の一環として献血活動を実施しております。また、地域の皆さまへの情報サービスやビジネスサポートとして、「チャリティー講演会」や「九州経済白書説明会」を開催いたしました。



献血活動（2019年1月）



2019年版九州経済白書説明会（2019年3月）

# お客さまへの大切なお知らせ

## 個人インターネット・モバイルバンキングサービスの24時間化および入出金明細照会の対象期間を拡大（2019年2月）



お客さまの利便性向上を目的として、個人インターネット・モバイルバンキングサービスの24時間化および入出金明細照会の対象期間の拡大を実施いたしました。

ブラウザでのオフライン照会は、取引明細毎に預金残高を表示し、通帳に近い画面レイアウトを採用しております。

### (1) 照会サービスの24時間化

24時間いつでも契約口座の残高照会および入出金明細照会が可能となりました。

サービス		平日、土曜、日曜、祝日
残高照会		0:00～24:00
入出金明細照会	リアルタイム照会	01:00～23:00
	オフライン照会	0:00～24:00

※振込・振替、税金・各種料金の払込みのサービス時間は変更ありません。  
●システムメンテナンスのためサービスを停止することがあります。

### (2) 入出金明細照会の対象期間の拡大

オフライン照会を追加し、リアルタイム照会より長い期間の照会が可能となりました。

	照会期間
リアルタイム照会	当日を含め31日分まで
オフライン照会※1	最大13ヶ月※2（前年同月1日から照会日当日まで）

※1 毎日6:00より2時間毎に入出金明細が反映されるため、照会時間によっては最新の明細が確認できない場合があります。

※2 開始日から直ぐに過去13ヶ月分が表示される訳ではありません。



# 役員／株式について

## 役員氏名

(2019年6月26日現在)

取締役頭取（代表取締役）	佐藤 清一郎	上席執行役員	池部 晋
取締役専務執行役員（代表取締役）	中野 慎介	執行役員	石橋 智行
取締役常務執行役員	執行 謙二	執行役員	大野 斉
取締役常務執行役員	鶴久 博幸	執行役員	橋本 賢治
取締役常務執行役員	金子 末見	執行役員	野口 光
取締役上席執行役員	藤崎 勇一郎		
取締役	麻生 渡		
取締役 監査等委員	龍 憲一		
取締役 監査等委員	赤松 乾次		
取締役 監査等委員	立花 洋介		
取締役 監査等委員	橋田 紘一		
取締役 監査等委員	永田 見生		

※取締役 麻生渡、取締役 監査等委員 立花洋介、橋田紘一、永田見生は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

## 株式のご案内

1. 事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	6. 同 連 絡 先	日本証券代行株式会社 代理人部 TEL 0120-707-843（フリーダイヤル） 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
2. 期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日	( 郵 送 先 )	日本証券代行株式会社 代理人部
3. 中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日	7. 上 場 証 券 取 引 所	証券会員制法人 福岡証券取引所
4. 定 時 株 主 総 会	毎決算日後3か月以内に開催	8. 公 告 方 法	電子公告 ただし、電子公告をすることができない場合は福岡市で発行する西日本新聞に掲載
5. 株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	日本証券代行株式会社		

### (ご案内)

- 配当金のお受取りは、当行本支店の預金口座振込をご指定いただきますと、早くて便利です。
- 株主様の住所変更、買取請求、配当金受取の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（日本証券代行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（日本証券代行）にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、日本証券代行本支店でお支払いいたしますのでお申し出ください。

## 株主優待制度のご案内

「株主優待制度」は、株主の皆さまからの日頃のご支援・ご愛顧にお応えするとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々へ長期間保有していただくことを目的として実施しております。所有株式数100株（1単元）以上保有する株主さまに対し、当行オリジナルカードを贈呈し、さらに保有期間12ヶ月以上の株主さまには保有株式数に応じて、当行オリジナル株主優待カタログから地元（福岡県、鳥栖市、日田市など）の特産品等をお選びいただけます。

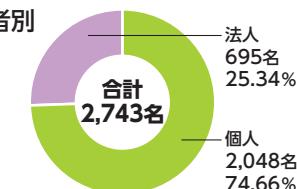


## 株式の状況

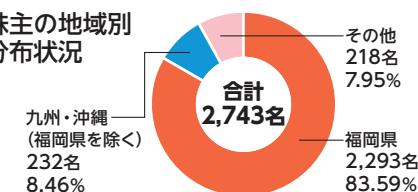
(2019年3月31日現在)

発行済株式の総数 6,249,020株  
株主数 2,743名

### ▶ 株式の所有者別分布状況



### ▶ 株主の地域別分布状況

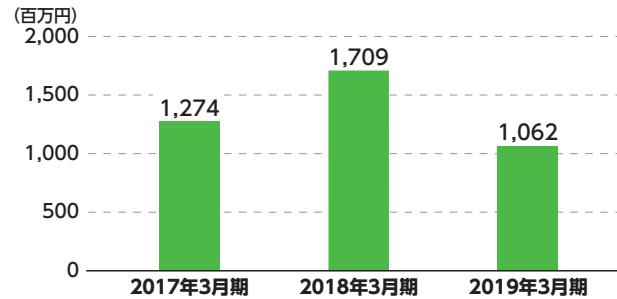


# 業績ハイライト

## 経常利益

経常利益は、国債等債券売却損が減少したものの、不良債権処理額が増加したことに加えて、株式等売却益が減少したことなどから前期比6億47百万円減益の10億62百万円となりました。

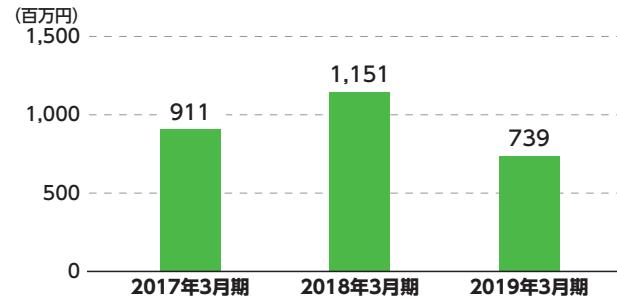
経常利益(単体)



## 当期純利益

当期純利益は、経常利益が減益となったことなどから、前期比4億12百万円減益の7億39百万円となりました。

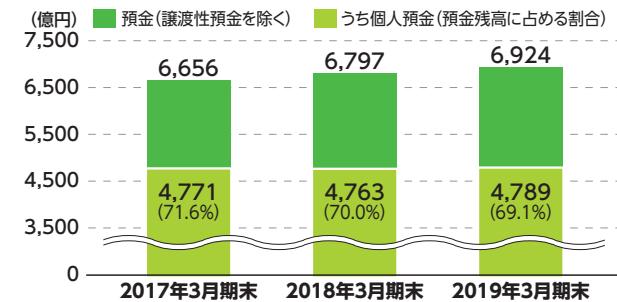
当期純利益(単体)



## 預金

預金は、法人預金が増加したことなどから、前期末比126億円増加の6,924億円となりました。

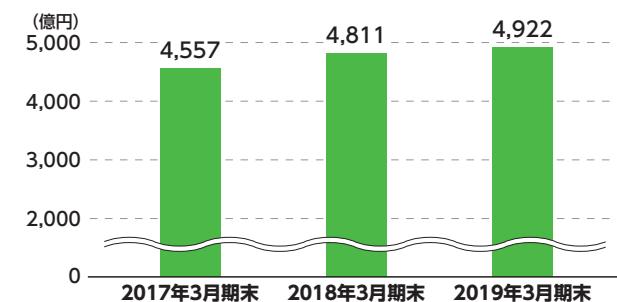
預金残高の推移(単体)



## 貸出金

貸出金は、地元の中小・中堅企業や個人事業主を中心とした取引の拡大や、住宅ローンをはじめとした個人のお客様の資金ニーズにお応えするなど積極的な営業活動に努めた結果、中小企業等向けなどの貸出金が増加したことなどから、前期末比110億円増加の4,922億円となりました。

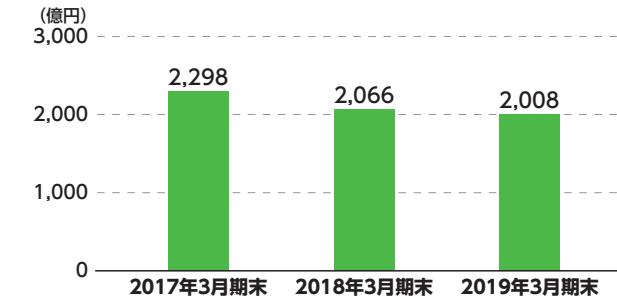
貸出金残高の推移(単体)



## 有価証券

有価証券は、短期・中期の国債金利がマイナスとなっている投資環境が続いており、国債が減少したことなどから、前期末比58億円減少の2,008億円となりました。

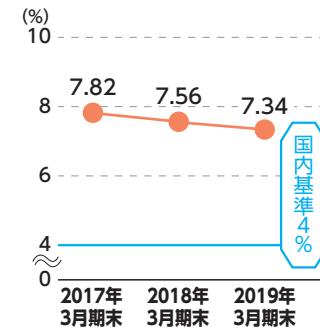
有価証券残高の推移(単体)



## 自己資本比率

7.34% 国内基準(4%以上)を大きく上回っています。

自己資本比率(単体)



2019年3月期末の自己資本比率は、前期末比0.22ポイント低下の7.34%となり、最低所要自己資本比率(国内基準)の4%を十分に上回る水準を維持しています。また、資本金や利益剰余金などの普通株式に係る株主資本の額が自己資本の額の

ほとんどを占めており、質の高さを維持しています。

## 不良債権比率

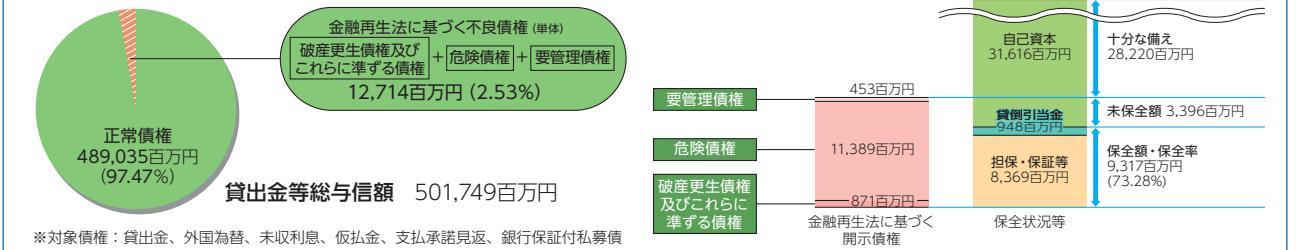
2.53% ※

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額5,017億49百万円のうち回収に懸念のない正常債権は4,890億35百万円であり、総与信額の97.47%を占めております。

一方、不良債権は127億14百万円(総与信の2.53%)となり、前年同期末の142億31百万円(総与信の2.90%)と比べて15億17百万円減少しました。また、この不良債権の73.28%(93億17百万円)は、担保・保証等や引当金で保全されています。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査・信用リスク管理を徹底し、貸出債権等の健全性確保に努めてまいります。

※部分直接償却後の比率



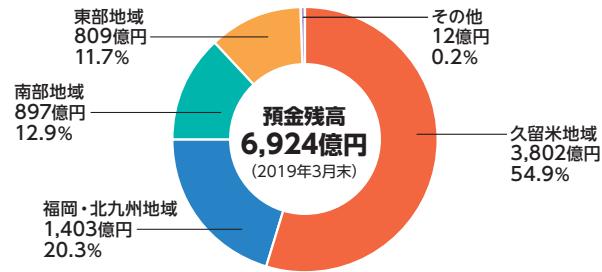
※対象債権：貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返、銀行保証付私募債

# 業績ハイライト

## 皆さまとのお取引状況<預金・預り資産>

### 地域別預金残高、構成比率

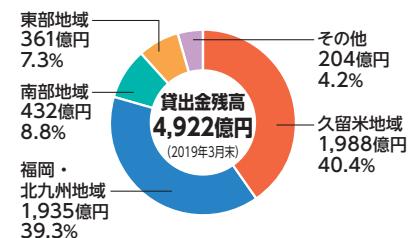
当行は、地域に根差した金融機関として、設立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は順調に増加しております。今後もお客様のニーズに対応した魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。



## 皆さまとのお取引状況<融資>

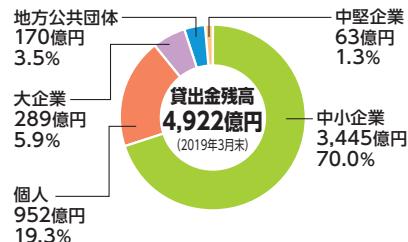
### 地域別貸出金残高、構成比率

当行が地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行設立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。



### 中小企業等貸出金残高、構成比率

当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心に貸出を行っております。今後もお客様のニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。

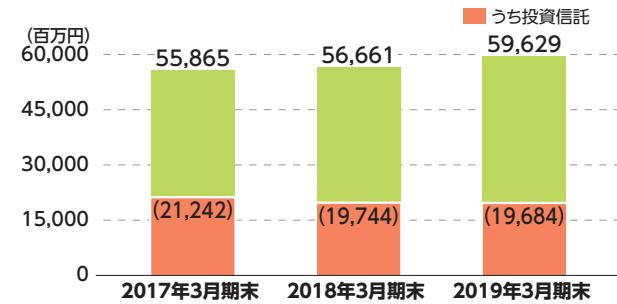


### 個人預り資産残高

当行は、お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。個人預り資産は、前期末比29億68百万円増加して596億29百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、生命保険、外貨預金、公共債の合計

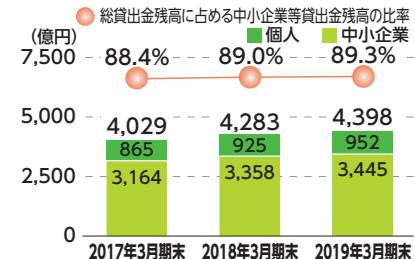
### 個人預り資産残高の推移



### 中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方に対する貸出金の残高は、前期末比114億円増加し、4,398億円となりました。総貸出金に占める中小企業等貸出金残高の割合は、89.3%（中小企業70.0%、個人19.3%）と引き続き高い割合を維持しております。

### 中小企業等貸出金残高、比率の推移



# 財務のご報告 (単体)

## 第95期末 貸借対照表 (単位:百万円)

(2019年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	70,450	預金	692,449
買入金銭債権	452	譲渡性預金	15,288
商品有価証券	46	借入金	28,000
有価証券	200,807	外国為替	0
貸出金	492,226	その他負債	2,863
外国為替	777	退職給付引当金	373
その他資産	3,847	偶発損失引当金	106
有形固定資産	8,858	繰延税金負債	265
無形固定資産	54	再評価に係る繰延税金負債	1,024
前払年金費用	463	支払承諾	9,221
支払承諾見返	9,221	負債の部合計	749,593
貸倒引当金	△1,747	<b>(純資産の部)</b>	
資産の部合計	785,459	資本金	8,000
		資本剰余金	5,759
		利益剰余金	17,022
		自己株式	△365
		株主資本合計	30,416
		その他有価証券評価差額金	3,347
		土地再評価差額金	1,898
		評価・換算差額等合計	5,246
		新株予約権	202
		純資産の部合計	35,865
		負債及び純資産の部合計	785,459

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第95期 株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

(2018年4月1日～2019年3月31日)

	株主資本							評価・換算差額等				新株予約権	純資産計	
	資本金	資本準備金	資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土再評価差額金	評価・換算差額等合計			
当期首残高	8,000	5,759	5,759	2,724	7,400	6,117	16,241	△364	29,636	6,314	2,244	8,559	161	38,357
当期変動額														
剰余金の配当						△304	△304		△304					△304
当期純利益						739	739		739					739
自己株式の取得								△0	△0					△0
土地再評価差額金の取崩						346	346		346					346
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										△2,966	△346	△3,312	41	△3,271
当期変動額合計						780	780	△0	779	△2,966	△346	△3,312	41	△2,491
当期末残高	8,000	5,759	5,759	2,724	7,400	6,897	17,022	△365	30,416	3,347	1,898	5,246	202	35,865

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 表紙について (THE RAIL KITCHEN CHIKUGO(西日本鉄道):福岡県)

写真出所：西日本鉄道株式会社

出 展：THE RAIL KITCHEN CHIKUGOホームページ

2019年3月、西日本鉄道の観光列車、「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」が運行を開始しました。西日本鉄道初の本格的な観光列車で、美味しい食事と、舞台となる地域が連想できるように、「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」と名づけられました。

西鉄福岡(天神)駅から大牟田駅へむかう「ランチの旅」、大牟田駅から西鉄福岡(天神)駅へむかう「ディナーの旅」があり、金曜・土曜・日曜・祝日に運行、所要時間は約2時間半となっています。同年6月からは西鉄福岡(天神)駅から太宰府駅へむかう「ランチの旅」も運行しています。

車両は窯を中心としたキッチンと、ダイニング車両の3両編成52席で、八女の竹を使用した竹編みの天井、いぶし銀が美しい城島瓦、家具のまち大川の家具、アーティストが描く筑後川など、沿線の地域資源をインテリアとして施しています。

料理は、地元の新鮮な食材をふんだんに使ったオリジナルコースを提供しています。列車内の窯で焼き上げる旬野菜のピザをメインディッシュとし、産地や旬にこだわった沿線地域の食材を使用したオリジナル料理を堪能できます。メニューは春・夏・秋・冬と季節に応じて変更されます。

「LOCAL to TRAIN～街を繋いできたレールは人をつなぐ時代へ～」をコンセプトに沿線のまちの魅力を乗せ、人と人、人とモノ、人と体験をつなぎ、地域の活性化・価値向上を目指していきます。



落ち着いたある車内



オリジナル料理



あなたのまちの  
**筑邦銀行**

筑邦銀行企画本部企画グループ広報チーム  
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1  
TEL (0942) 32-5331 (代)  
<https://www.chikugin.co.jp/>

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

